つるさき

発行所
鶴崎神社
〒701-0304
早島町早島2220
TEL 482-0097
FAX 697-6067
URL
http://turusaki2.web.fc2.com/

参集殿上棟祭／令和元年6月12日

参集殿が竣工へ

当社の参集殿建設につきましては、出費ご多端の折にも拘わらず、浄財のご奉納を賜り誠に有り難うございます。

第二期の集金も少し残っておりますが、お蔭をもちまして、工事は順調に進捗し、三月三日の地鎮祭を始め六月五日の立柱祭、六月十二日にはめでたく上棟祭を執行する事ができました。

今後は、参集殿の建設と並行して、社務所の一部を神輿庫に改装し、職舎（旧社務所）及び神輿庫を解体して、参集殿正面のアプローチ工事を施行し、十二月には全ての工事を終了して竣工祭を執行する予定となっております。

来年の正月からは、社務所機能を参集殿に移し、稼働する事と成りますので、神札・御守の授与等は参集殿で対応致します。

参集殿の授与所は現在の二倍の広さになり、奥行き約三メートルの下屋（さしかけ屋根）を設置致しますので、雨の日にも濡れる事無く、混雑にも対応出来るようになります。

奉納寄附金額は当初の予定から今一歩不足しております。年末までは随時、ご奉納を承っておりますので、氏神様のために、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

写真で見る参集殿建設状況

基礎工事 /5 月 18 日

建前が終わった参集殿 /6 月 8 日

屋根地とルーフィング /7 月 5 日

屋根が葺き終わった参集殿 /8 月 22 日

践祚改元奉告祭執行

天皇陛下退位を受け、四月一日に菅官房長官から新元号「令和」が発表され、五月一日から施行される事になりました。

五月一日、恒例の月次祭に合わせて践祚改元奉告祭を執行し、参列者に元号の出典元となった万葉集の「梅花の歌三十二首」の冒頭部分を口語訳し、令和の元号入り神酒を授与しました。

当日は、令和の御朱印を受けたり、拝殿向拝に掲げられた奉祝懸垂幕を写真に収めたりする参拝者で終日賑わいました。

新元号と天皇陛下即位を奉祝する懸垂幕

即位礼当日祭

天皇陛下におかせられましては今秋、即位礼並びに大嘗祭を執り行わせられ、皇祖皇霊を始め、広く内外に御即位を公に宣明なされます。

この慶事に伴い全国の神社では、即位礼当日祭を執行致します。当社におきましても左記により斎行致しますので、お繰り合わせ御参列下さい。

記

◆日時　令和元年十月二十二日㈫
　　午前九時～
◆場所　鶴﨑神社拝殿

大嘗祭当日祭並 新穀感謝祭

大嘗祭は、天皇陛下が御即位の後、初めて行わせられる新嘗祭（陛下が新穀による御饌を天照大御神・天神地祇に供せられ神々と供に召し上がられる祭祀）です。

当社の新穀感謝祭に併せて大嘗祭当日祭を左記により斎行致しますのでお繰り合わせご参列下さい。

記

◆日時　令和元年十一月二十三日㈯
　　午後二時～
◆場所　鶴﨑神社拝殿

安原伝兵衛物語

13

「廃れ間歩で八年も水汲みばかりやってるそうだが見当はずれじゃないのか？」

「いんや、そげなことはありません。水の逃げ道さえ考えたら立派な間歩になりますけん」

「そうか、聞きしに優る頑固者じゃな。それにはひとつ方法がある。横相と言ってな、南蛮渡来の技術じゃ。佐渡金山で試してうまく行った。どうかな、儂と組む気はないか。」

横相なんて初めて聞く伝兵衛だったけど、その瞬間、これは長年探し求めてきた方法で必ず成功すると直感した。

「是非儂にやらしてごしない。必死でやりますけん」伝兵衛の目が輝いた。

「そうかわかった。早速手配しよう」

かくして二人は廃れ間歩復活に向かって手を組んだ。

横相は急ピッチで進められ、見事に廃れ間歩につながり大量の溜まり水が流出した。

そして伝兵衛の見込み通りとびっきりの良い鉱脈が発見された。

伝兵衛は万感の思いでこの復活した間歩を「釜屋間歩」と名付けた。伝兵衛にとってこの間歩はり水観音そのものだった。

伝兵衛が発見した釜屋間歩

翌年、慶長七年（一六〇二）釜屋間歩で働く掘子と負子は千人を越え、続々と鏈が掘り出された。長安は更に新間歩の開発を伝兵衛に命じた。伝兵衛は、釜屋間歩から二百メートル程離れた処に「大久保間歩」を掘った。この両間歩は奥でお互いに繋がっている。

大久保長安は石見銀山奉行就任の年に、釜屋間歩を成功させた強運の持主だ。この功績により、慶長八年佐渡金山奉行も兼任し、石見二万石の大名に出世した。

石見銀山奉行として十四年の間、石見銀山を訪れたのは僅か四回だった。しかし、行政手腕に優れ、銀の輸送路を海路から陸路に変更したり、行政機関を銀山町から大森町へ移すなど大きな改革を行った。

その一方で、赴任地への大名行列は、警備の武士の他、猿楽師や着飾った美女など七十人の絢爛豪華な行列で世間の注目を集めた。

釜屋間歩からは莫大な銀を産出し、徳川幕府の財政に大きく貢献した。

慶長八年（一六〇三）の釜屋間歩の運上銀は三千六百貫（十三・五トン）世界的に見ても、西暦一六五〇年までの世界の産銀高四百二十トン、内日本は二百トンだった。

二人の立役者の生活は対照的だった。

伝兵衛の暮らしは釜屋間歩の成功後も殆ど変わらなかった。唯一の変化は、錦織弥太夫の世話で出雲田儀から嫁をもらうため、家を新築したことだ。

早島のおかァも亡くなり、この石見銀山に永住する決意をした。

神仏への畏敬の念は、ますます深くなり、銀山町の清水寺、三次の鳳泉寺、早島の御崎宮（鶴崎神社）へ寄進を続けた。

御崎宮に現存する資料によれば、文禄二年（一五九三）から元和元年（一六一五）までに、本殿新改築、屋根葺替え、毘沙門堂新築、御釜殿新築など、六回寄進していた。

御崎宮は、明治になって鶴崎社と社名を変え現在に至っている。

七五三詣り

本年は下記の年齢の子供が七五三です。
ご祈祷は随時奉仕しておりますが、予約をお願致します。

3歳　平成29年生　男・女
5歳　平成27年生　男
7歳　平成25年生　女

七五三詣りは「かぞえ年」で行うのが本義ですが、諸事情により「満年齢」でもお参りされています。

総代長 安原 昇氏が逝去

当社の総代長安原昇氏が六月十八日に逝去され、同二十一日にセレマ倉敷シティホールにて宮司、総代参列の下、葬儀が執り行われました。

同氏は平成十三年に総代に就任し、平成十七年には総代長（責任役員）に就任し、十八年の長きに渡って神社の運営護持に携わっていただきました。

その間、岡山県神社庁都窪支部総代会長、岡山県神社総代会理事の要職を歴任し、平成二十四年には長年の功績に対して当社からの感謝状、平成二十五年には岡山県神社庁表彰の栄誉に浴されました。

まいられえ岡山 今年も参加しています

今年も神社仏閣60社寺が参加して山陽新聞社主催「まいられえ岡山」が開始されました。

ガイドブックには、各社寺の縁起や見どころなど、幅広く紹介されています。

参加している神社、仏閣ではフォトコンテストとスタンプラリーが次の通り行われております。

フォトコンテスト
（令和2年4月30日〆切）

スタンプラリー
（令和2年6月5日〆切）

応募用紙を兼ねたガイドブックは拝殿内に置いてありますので、ご自由にお持ち帰り下さい。

参集殿建設奉納金芳名板設置

2万円以上ご奉納の方のお名前を掲示しております。

総代の異動

（令和元年6月1日付）

帯高南古開	
退任	岡　誠一 倉敷市帯高四三三
新任	鈴木　裕二 倉敷市帯高三九九ー二

（令和元年7月15日付）

塩　津	
死亡	安原　昇 早島町早島一五八
新任	谷本　渉 早島町早島八七ー一

（令和元年9月1日付）

五日市
新任
大原　茂 倉敷市五日市八七三

祭事暦

十月十九日（土）
［午前十時］鶴崎神社秋季大祭【供膳祭】
［午後七時］八幡神社秋季大祭（露店あり）

十月二十日（日）［午前九時］神幸祭

十月二十二日（火）［午前九時］即位礼当日祭

十一月十五日を中心に　七五三祈祷

十一月二十三日（土）
［午後二時］大嘗祭当日祭並新穀感謝祭

一月二日（木）［午後二時］年始祭

毎月一日［午前九時］月次祭

※各祭典はどなたでも参列出来ますので、お誘い合わせご参拝下さい。

諸祈祷・出張祭の案内

当社では左記により随時ご奉仕致しております。

◆家内安全・交通安全・初宮詣・七五三詣・厄除・九星災難消除・安産・当病平癒・学業成就・その他

◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・埋井祭・改装清祓・解体清祓・神葬祭・霊祭等

ご希望の方は前もってご連絡下さい。